

公開シンポジウム

古代エジプト領域部の文化変化と
そのエージェンシー

2025年 7月5日 土 13:00-18:30

名古屋大学文学部 237講義室 (zoom ハイブリッド開催)

13:00－ 開会の辞

13:10－13:50 有村 元春「古代エジプト新王国時代の輸入土器の流通」

13:50－14:30 西本 真一「オベリスクの計画方法について」

14:30－15:10 周藤 芳幸「ナイルの水位変動と飢饉をめぐる文化的記憶」

(休憩)

15:30－16:10 佐藤 力矢「ローマ帝政初期エジプトにおける皇帝崇拜：
アウグストゥスと在地社会との文化交渉」

16:10－16:50 長谷川 奏「リモートセンシングを応用したナイルの水辺研究：
メンフィスと西方デルタの事例から」

16:50－17:30 高橋 亮介「シルシラ採石場のギリシア語グラフィティについて」

(休憩)

17:40－18:30 総合討論

18:30－ 閉会の辞

お問い合わせ

主催：アコリス遺跡考古学調査団（団長 川西 宏幸）

名古屋大学 人類文化遺産テキスト学研究センター（CHT）
周藤 芳幸 suto.yoshiyuki.t3@f.mail.nagoya-u.ac.jp



科研費
KAKENHI

2025年度 科学研究費補助金 基盤研究（A）「古代西ユーラシア世界における
知のネットワークとそのエージェンシー」（24H00099 研究代表者 周藤 芳幸）